

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 3月 7日

【評価実施概要】

事業所番号	2170101618		
法人名	株式会社 ハルス		
事業所名	グループホーム はるすのお家 ぎふ		
所在地	岐阜市御望字天神951番地170 (電話) 058-230-9080		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成20年2月26日	評価確定日	平成20年4月21日

【情報提供票より】 (平成 20年 2月 10日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 2月 26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	15人
職員数	19人	常勤 6人, 非常勤 13人, 常勤換算	13.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨及び木造 造り		
	2 階建ての	1 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	10,500~ 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	250 円	昼食 420 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 20年 2月 10日 現在)

利用者人数	15名	男性 2名	女性 13名
要介護1	1名	要介護2	4名
要介護3	5名	要介護4	4名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 83.4 歳	最低 70 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	平野総合病院・福富医院・岐北クリニック・山内ホスピタル
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地の小高い北はづれに位置するホームからは、養老山地が一望できる。利用者は、見慣れた馴染みの風景を眺めながら、ゆったりと、穏やかに暮らしている。事業所は、その人らしい暮らしを支えるための理念を掲げ、経験豊かな地元採用職員で構成されている。管理者は、人材の育成と質の向上を目標に掲げ、段階に応じた内外の研修への参加と資格の取得に力を注ぎ、今年度は、介護福祉士の資格に5名が合格するなどの成果をあげている。さらに、現状に満足することなく、利用者一人ひとりのニーズに答えながら、安心した穏やかな暮らしを支えるために、職員の専門性をより高め、より一層の質の向上を目指している。また、利用者と良好な関係をつくり、気付きを日々のケアに反映させている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の課題であった入浴では、回数を増やし、昼間の長い時間帯を設け、利用者の選択の機会を広げている。また、スキンケアやホットミルク等を提供することで安眠剤の軽減を図っている。地域への還元では、ホーム便りの発行を定着させ、内容にも工夫が見られる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価では、自らに厳しい評価をしており、管理者は、常にステップアップの姿勢を示している。課題として、人為的な介護事故を防ぐためのケアにおける仕組みづくりと、職員の質のより高い水準での均質化を掲げ、努力目標にしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議の有用性を認識しており、これまでの不定期の開催から、2ヶ月毎の開催に向けて、多様なテーマのプログラムが作成され、実施へ向けた段階である。参加メンバーである次期改選の自治会長や自治会班長の後任者にも、引き続き参加要請を行っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族とは、訪問時に意見を出しやすいような関係作りに努めており、これまでもさまざまな意見があり、対応している。手洗い場の衛生面に関する改善、利用者の好みや習慣をホームでも継続するための取り組み、幼稚園・小中学生の受け入れ等の提言を受け、運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	地域には、回覧板を利用し、認知症介護や入居に関する相談窓口としてのホームの役割等の広報と、職員募集の案内も入れて、地域に発信している。近隣住民をパーティに招待する機会は前回より減少したが、町内の清掃活動や運動会等の年中行事には、職員が積極的に参加し、地域との交流を深めている。今後は、地域との防災協力体制づくりに取り組んでいく姿勢である。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、その人として、その人らしく暮らしていくための理念を掲げ、介護サービスの基本に位置づけている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、習字の上手な利用者を書いてもらい、玄関正面に掲示して共有を図っている。訪問する家族からも目に触れ易く、理解と共感が得られ、職員の励みともなり、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域には、回覧板を利用してホームの現状・役割を広報したり、地域の清掃活動や運動会にも職員が積極的に参加する等、交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価での課題を全職員で検討し、改善に反映させている。自己評価で気づかない点は外部評価で指摘を得たいとしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	これまでの運営推進会議は、不定期開催で、その機能は十分に活かされているとはいえない。運営推進会議の有用性を認識しており、2ヶ月毎の開催に向けて取り組んでいる。次期改選の自治会長や自治会班長の後任者にも、引き続き参加要請を行っている。	○	運営推進会議を2ヶ月毎に開催する計画が策定されているため、その実現が期待される。さらには、離れた会場での会議が設定されているので、参加者がホームの実情に接する場面を組み入れることが望ましい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者には運営推進会議に参加してもらっている。事故報告書を提出し、指導を受けたり、何でも気軽に相談できる関係を築いている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理の報告は適切に行われている。個別の暮らし振りについては、電話で報告されているものの、十分とはいえない。	○	毎月発行している「はるす通信」の一角に個別の情報を書き込み、家族に送付する方向で検討しているので、その実現が期待される。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは、訪問時に意見を出しやすいような関係作りに努めており、訪問した家族から気づいたことを指摘してもらい、手洗い場の飛水がコップを汚す等、これまでも提言を受けた課題について、改善を図っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	直近の1年間は、3名退職し、2名の採用があった。新規採用職員には、利用者に無理なく馴染んでもらうための介護マニュアルが、1週から4週までのステップアップガイドとして用意され、実行されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会が段階に応じて提供されている。資格取得の支援も行っており、その合格率も高く、職員の働く意欲にも反映されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在のところ、同業者との交流は行っていないが、地域の同業者との相互交流の話し合いが進められ、実施の方向で検討している。服薬管理などで課題があり、情報交換の必要性を理解している。	○	同業者との交流を通じて、さらなるサービスの質の向上への取り組みに期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者に納得して利用してもらうために、体験入居を、1~2週間提供している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理づくりや家庭菜園を一緒に行っている。種まきから発芽、収穫までを楽しみにしながら、栽培方法などを利用者から学んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>定期的に家族に電話を掛けたい人、馴染みの美容院へ行きたい人、外泊したい人など一人ひとりの思いを把握し、家族の協力を得ながら支援に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、職員からの意見を集約し、家族や関係者の意見を聴いて作成している。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは、3ヶ月ごとの定時の見直しと心身の変化に応じた見直しがあり、家族・関係者と話し合い、新たな介護計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>受診や往診等の付き添い・早期退院に向けた支援、外泊や日頃行けないところへの外出の支援等を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の多くは、かかりつけ医があり、受診・往診を支援している。かかりつけ医を持たない利用者には、協力医への受診を支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に備え、入居時に特別養護老人ホームに入所申込みを申請している。終末期については、介護のできる場所までとし、関係者と十分話し合い、最終的には、医療機関に委ねることを方針としている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けや気配りを心がけてはいるが、職員に個人差があることを、管理者も認識している。記録等の個人情報の取り扱いは安全に管理されている。	○	利用者の誇りやプライバシーを守る意識については、学習会等で繰り返し周知・共有されたい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れの中においては、多少の制約はあるが、調理・掃除・洗濯等の家事、テレビ・塗絵など本人のペースで参加している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りでは、献立を一緒に考えたり、職員も一緒に同じ食事を摂り、片付け、食器洗いも利用者と共にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に4～5回の入浴日を設け、時間帯も長く取り、利用者の希望によって選択できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事の好きな人は、時間を忘れるほどに熱中している。教育勅語などの昔を回想して、話を盛り上げたり、習字・塗絵を趣味としている利用者もいる。誕生会や忘年会も楽しみであり、気晴らしになっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族が、食事や喫茶店に連れて行く機会はあるが、日常的に積極的な外出支援はできていない。	○	職員は、外出することによる心身への効用を十分認識しているので、場面や時間の設定に配慮しながら、実施に向けた取り組みが期待される。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組んでおり、弊害はない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急連絡チャートはあるが、災害対策、避難訓練は行われていない。	○	消防署との連携、地域の協力体制について、働きかけると共に、運営推進会議でも議題として検討されたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量及び水分量については、チェック表に記録し、栄養バランスに配慮した支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日射しはカーテン等で調節し、玄関や廊下には写真や季節感のある花が飾ってある。食堂と居間には、ソファと畳のコーナーがあり、くつろぎの空間が確保されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた小物入れ、家族の写真、時計やカレンダーも置いてある。自分用のテレビが持ち込まれている部屋もある。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。